

取組名 (京都 産学公SDGsプロジェクト)

主催：京都市

1.取組タイプ

○	I	会議体
	II	登録・認証制度
	III	拠点の設置
	IV	協定締結
	V	その他

2.取組目的・概要	京都大学, J T, 安田産業, リコー, 京都市等により, 京都市をフィールドに産学公が連携し, SDGsの達成に向けて共に考え, 行動し, 発信することを目的とする。趣旨に賛同し, 参加する企業・団体を増やしなが, 世界や地域におけるSDGsの取組が, 真に持続可能な社会の実現につながることを目指し, 活動を推進する。	
	3.活動開始時期	令和元年6月27日発足
4.取組規模(会員数)	当初5団体 ※その後も参加団体を増やしている。	

5.取組の詳細

本プロジェクトの取組内容は、
 ● 学者や企業の研究者などが学術研究を行う「超SDGs研究ライトユニット（正式名称：調和ある地球社会研究ライトユニット）」
 ● SDGsの社会実装を目指す「京都超SDGsコンソーシアム」
 「超SDGs研究ライトユニット」と連携し, SDGsの社会実装を目指す産学公連携による共同プロジェクト。京都大学においてサステナブルキャンパスモデルの構築に取り組むほか, 京都市北部山間地域の森林保全と再生可能エネルギーの利用, 環境教育プログラムの開発などに取り組む。
 ● SDGsに関する情報交換や議論を行う「講義・セミナー」
 様々な専門家とともに考えるパネルセッションや, 学生や若手研究者らによるポスター発表, 挑戦的なワークショップ, セミナーなどを行う。
 の3つの活動を推進。

6.取組の活動予定・スケジュール

令和元年6月27日 超SDGsシンポジウム/サイエンスアゴラin京都を開催
 11月15日 SCIENCE AGORA 2019 京都産学公 超SDGsプロジェクト～産学公の連携による, 次の千年につながる魅力あふれた街づくり～
 令和2年3月15日 第3回京都大学「超」SDGsシンポジウム&博覧会
 ～17日 「プラスチックと持続可能性」

7.関連するゴール

8.取組イメージ

展開・体制イメージ

多様な研究者グループ
 多様な研究者
 調和ある地球社会研究ライトユニット
 研究コンソーシアム 京都超SDGs研究コンソーシアム
 講義・セミナー (京都大学超SDGs研究セミナー, SDGs講演開発など)

- 持続可能性・SDGs概念や基盤技術・システムについて、**学術的な議論から社会実装まで**を念頭に置いて、産官学・市民などの多様なキーパーソンとともに、研究を行う。
 研究成果の発信（シンポジウム、講義・セミナー等）や社会実装にも力を入れる。
- 持続可能性・SDGs概念や基盤技術・システムの**社会実装を念頭に**置いて、**産官学・市民などの強みと熱意のあるプレイヤー**とともに、研究・教育・社会貢献活動を、**京都を中心に**展開する。
- プロジェクトごとに参加主体を調整しつつ、全体としての有機的なつながりも担保する。
- 包括連携や実事業等への展開も推進する。
- 現在、京都大学、京都市、リコー、安田産業、JT等が参画し、全体の企画は、研究ライトユニットと連動する。
- 持続可能性・SDGs概念や基盤技術・システムに関して、**広く深く学び、自分事化**することのできるプログラムを開発・提供する。
- 学生のみならず、多様な主体**（企業や自治体、市民、学校等）を対象としたものや、**共学・協創的な展開**も念頭に置く。